

議題（４）戦略的イノベーション創造プログラム（S I P）の 取り組みについて（報告事項）

1 戦略的イノベーション創造プログラムとは

内閣府が実施する研究開発の支援事業で、産学官連携により社会課題の解決に取り組むことで科学技術のイノベーションを推進し、先端技術等の社会実装を目指すプロジェクト。

2 目的

名鉄西尾・蒲郡線の利用促進を主軸に、二次交通の充実を始めとする地域の交通利便性向上を図る取り組みを推進する。

3 経緯

令和5年度に幡豆地区において実施した電動キックボードのレンタルを実施し、西幡豆・東幡豆エリアに点在する観光資源へのアクセス性と地域の回遊性を高めるとともに、移動そのものも楽しめるモビリティサービスの実現可能性を調査する実証を行った。

事業の採算性は期待できないものの、駅からの二次交通手段を充実させ移動の選択肢を増やすことで、公共交通機関を使った移動をしやすい環境が整い地域の回遊性は高まることは車を持たない世代の誘客に効果的である。

交通分野単体では効果は限定的であるものの、観光推進や商工振興と一体的に取り組むことで、さらなる相乗効果が期待できることから、S I Pを活用し将来的な実装を見据え、電動キックボードの実証を含め公共交通の利便性向上や新たな移動ニーズの創出に向けた取り組みを実施している。

4 プロジェクト構成メンバー

国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学（事務局）

名古屋鉄道株式会社

A Z A P A エンジニアリング株式会社

西尾市

5 取組内容

- （１）「いこまいかー」利便性向上施策の実証実験について
- （２）モビリティハブの構築に向けた取り組み